

笠間市総合計画審議会（第1回）会議録

会議名 第1回 笠間市総合計画審議会
日時 平成28年6月22日（水） 午後6時30分から午後8時
場所 市役所本庁 行政棟 2階 大会議室
出席者 出席委員（敬称略） 小原規宏，大津廣司，小松崎均，西山猛，畑岡洋二，飯村信康，大峰渉，小磯節子， 河村一敏，丸山美知子，水上浩，渡邊洋子，塩畑敏之，坪山克之，西野智子，本間敬 事務局 山口市長（諮問後退出），藤枝公室長，後藤課長，石川課長補佐，山本主査，北野主査， 成田係長，鈴木主事
傍聴者 2名
次第 1. 開会 2. あいさつ 〔山口市長挨拶〕 〔出席委員・職員紹介〕 3. 委嘱状交付 〔委員を代表して大津委員に委嘱状が交付された〕 4. 会長及び副会長の選任 〔会長に小原委員，副会長に大津委員が選任された〕 5. 総合計画の諮問 〔山口市長より小原会長へ諮問〕 6. 議事〔別記〕 （1）第2次総合計画策定方針について （2）第2次総合計画策定スケジュールについて 7. 報告〔別記〕 （1）笠間市の現状について（笠間市人口ビジョン） 8. その他〔別記〕 9. 閉会

○議事

会長：それではよろしくお願ひいたします。議事に入ります前に、審議会の成立宣言につきまして、事務局にご報告を求めます。

事務局：委員定数19名中16名の出席をいただいております。笠間市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、本議会は成立いたすことをご報告いたします。

会長：それでは議事に入らせていただきます。まず最初に第2次総合計画策定方針についてでございます。この件につきまして事務局より説明願ひます。

(1) 第2次総合計画策定方針について

(別紙資料により成田係長説明)

会長：これにつきましてご意見ご質問等あればよろしくお願ひします。

委員：すでに様々な個別計画があり、その中で来年度より総合計画を実施していくこととなるが、最上位計画である総合計画に合わせて個別計画を見直すのか、あるいは個別計画に合わせて総合計画を書き換えるくらいのことをするのか、基本事項に統一性と整合性が確保された計画というように記載があるとおり、大変ではあろうがきちんとこの点を心がけていただきたい。

事務局：個別計画が改変されればそれに応じて施策アクションプランの見直しを図るなど、柔軟に対応していければと考えております。尚、個別計画との関係性につきましては、次回以降の審議会の方で細かくご説明していきたいと思ひます。

会長：その他ご意見等ございませうでしょうか。特にないようですので、事務局より提案いただいた原案のとおり決定するというところでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長：異議なしとのことですので、原案のとおり決定させていただくこととします。続きまして、策定スケジュールに関して、事務局より説明をお願ひします。

(2) 第2次総合計画策定スケジュールについて

(別紙資料により成田係長説明)

会長：これに関して、ご意見ご質問等ございましたらお願ひいたします。

委員：これまでの総合計画の検証というのはどういう様にやってこられたのか、それに関してご説明いただきたい。

事務局：第1次総合計画は10年にわたる基本構想、前後期5年ごとの基本計画からなっており、現在、推進中の後期基本計画は前期基本計画の検証を行った上で策定を行っております。後期基本計画の進行管理としまして、行政評価制度の施策評価を活用し、毎年度評価を行い、構成事務行の見直しにつなげております。このたび、第1次総合計画期間の終了に伴い、後期基本計画の検証を行うことになるわけですが、平成27年度末時点での目標達成状況を把握し、特に、達成できなかつ

たものについては、その要因を分析するものでございます。また、後期基本計画の計画期間が28年度までとなっておりますので、28年度末時点の目標達成状況の見込みも出していく考えでおります。検証結果につきましては、8月の審議会にはご提示する予定でおりますが、検証結果がまとまり次第、皆様にご提示できればと考えております。

委員：現在の総合計画に関して、まだ達成できていない部分が第2次総合計画においてはどう組み込まれていくのか、達成済みの部分やまだ議論の必要がある部分はどうしていくべきなのか、それを提示いただけるとありがたい。

事務局：このことにつきまして、やはり検証結果を庁内でできるだけやくとりまとめまして、皆様の方にご提示できればと考えております。

会長：スケジュール見直しに関する直接のご意見はございませんでしたので、原案のとおり決定するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

会長：それでは原案のとおり決定させていただきます。

○報告

(1) 笠間市の現状について(笠間市人口ビジョン)

(別紙資料により北野主査説明)

会長：ご意見等ございましたらお願いします。

委員：最後の部分で、取組みを急ぐとの言い方があったが、何をどう急ぐのかお教えいただきたい。

事務局：説明が至らなかった部分で申し訳ございません。人の希望をかなえる環境の構築、あるいは産業の活性化に係る部分の取組みを強化してまいりたいという様に考えております。

委員：具体的にどういうことでしょうか。

事務局：人口ビジョンを定めた上で笠間市の創生総合戦略を定めさせていただきました。非常に多数のプロジェクトがございますけれども、例えば結婚から子育てまで切れ目のない支援体制の確立を進めていくことであったり、女性活躍応援など男女共同参画に係っていくこと、さらには空き施設・空き家を移住促進などのために整備する等、既存ストックの利活用に関すること、付加価値のある産業の支援ということで笠間焼や農業の支援、商店街の活性化に関することなど、以上一部ではございますが、総合戦略の方で位置づけさせていただきました。

委員：空き家対策はいいと思う。その他の部分で数字があればご提示いただきたい。

事務局：女性の復職事業では、平成31年度の時点では検討者の数を最低でも25人にする、また大きな数字にはなりますが、観光客数を360万人にまで上げていく、さらには従業者数に関して、平成24年時点で2万6,657名というものを2万

7,000名に上げていくというように、数値の目標を掲げた上で各事業を展開していきたいと考えております。

委員：観光に関して、観光客の数字の根拠をお尋ねいたします。

事務局：現在イベント時の観光客を中心に352万人程度の数字を持っておりますが、これにオリンピック・パラリンピックに合わせた外国人観光客の誘致であったり、イベントのみならず通年型の観光PRを進めていくこと、笠間焼の観光資源としての強化を図ることを踏まえまして、約8万～9万の数字増を見込み、目標として掲げさせていただきました。

委員：観光客の数字は、どこで発表しているものを根拠にしているのですか。

事務局：茨城県が出しているものをもとにしております。

委員：私もそれが気になり、以前茨城県に問い合わせたところ、あの数字は主催者発表のものであると聞きました。その根拠のない主催者発表の数字をもとに目標値を定めるとするのは、根本から間違っていると思います。何㎡のうちに何人いたか、それを面積分けて数字を出す。この数字はいわゆる自己申告というもの。この自己申告の数字をもとにして見積値を上乗せしても、もとにして数字にはっきりした根拠がない。イベントは確かに盛り上がります。しかし通年型の観光というのも随分前から言っているが、具体的に通年型の観光PRは何をしたのですか。雇用に関しては最近、MonotaROという企業が来て雇用や定住に関する数値が具体的にになりました。観光に関して、こういった具体的なことが知りたい。数字に関して、結局のところ自己申告の数字をもとにしていてというのがよろしくないと思います。この点、きちんと考えていただきたい。

会長：私も、大洗の方にも携わらせていただいたことがありますが、たとえば一家族がアクアワールドに行った後、まいわい市場に移動したとすると、人は同じでも数値としてはそれぞれ観光客の人数としてカウントされ、単純に2倍になってしまう。現状分析をするにあたって観光客の把握というのは難しい部分があるので、考えていかなければならない部分だと思います。また量よりも質が大事、という考え方もある。それを踏まえ、これからの産業を考えていく上で一点確認しておきたいことがあります。笠間市は平成12年までは転入の方が多く、人口を引きつけているということが分かりますが、動向として、周辺地域、たとえば県北の方から人が流れてきているのかとか、その点が気になったのでお伺いしたい。

事務局：合併をし、友部地区を中心に人口が増えてきたことが見てとれます。これは近隣の市区町村からの異動というのが母数として多くありました。

会長：友部は住宅が多いということでしょうか。私の大学で見ますと、女性は特に、第二次産業を嫌うという傾向がある。工業団地ができると独身男性の数字は伸びるが、女性の場合は東京に出てしまう。旧友部・岩間・笠間では産業が違っていると思いますが、その旧3地区の中で見るとどこが人口減少が顕著に表れているのでし

ようか。

事務局：相対的にみると、旧笠間地区が減少傾向にあるということが見てとれます。

委員：今会長が質問したことと同じことかもしれませんが、なぜ平成12年を境に社会増・自然増だったものが社会減・自然減に転じているのでしょうか。他の市、桜川市や城里町も同様の傾向だったのか、社会的には何が起きていたのか。合併する以前は増加しており、合併後に減少に転じている。これは合併後の施策が何か影響しているのか、当時の国の動向とも関連しているのか。そういった部分、何か分かっていることがありましたらお教えいただきたい。

事務局：全国的な傾向としましては、やはり東京への一極集中というのがあります。また、笠間だけがこういった傾向にあるのかということに関しては細かいデータが今手元にないのですが、石岡市も笠間市と同様の傾向にあります。一方、水戸市やつくば市は反対に増加傾向にありますので、近隣であっても必ずしも同じ傾向にあるということとは言えないような状況です。

委員：あくまで私の推論ではありますが、ひょっとしたら平成の大合併が地方から若者を奪っていったのではないかということがあります。小学校でも、規模が小さな学校はなくなってしまうかもしれないから先に大きな学校に行ってしまう、ということが起きた。これは街にも同様の懸念がされます。では小さな街としてはどうしていくべきなのか。小原先生のご専門かもしれませんが、今日の時点では分からないにしても、分析していただけるとありがたいと思います。

会長：勉強させていただきたいと思います。

委員：資料6ページ、2060年の人口見通しとして56,000人という数字がありますが、この数字を固定して計画づくりを進めていくのかという点と、はたして計画を考えていくにあたりこの数字がどんな影響を持つていくのか、分かればお教えいただきたい。

事務局：2060年までの推計をするというのは非常に困難な作業でもあります。その間、5年ごとに国勢調査が行われ、きちんとした数字が出てまいりますので、それをもとに数字の乖離が見られた場合には、見直していく必要があるという様に考えております。

委員：今回の計画の中では、この数字を固定して進めていくということによろしいでしょうか。

事務局：総合計画でなく総合戦略の方では、5年間はこの数字をひとつのビジョンとして進めてまいりたいと考えます。

委員：前回の計画でも、当初の見積値よりだいぶ下回っている。ゆえに、最悪の場合、今以上に減ることも考えられる。国全体で人口が減っており、今や市町村間で人の奪い合いみたいになっている部分がある。そうはいつでも努力していかなければならない部分もあるので、この数字は努力目標ということにとらえればよろしいとい

うことですね。

事務局：はい。

委員：ありがとうございます。

会長：そのほかございましたらお願いします。

委員：資料6ページ，社人研（国立社会保障・人口問題研究所）試算の43,000人という数字と，56,000人という数字に大きな開きがある。これをどの様に考えたらよろしいでしょうか。

事務局：社人研からの数字は2040年までしか出ておりませんので，そこから20年は独自試算というかたちにはなるのですが，たとえば企業誘致などの取組みを進めていくことで，ふたつの試算の減少の幅を縮めていくことを見込んだ上で，56,000人という数字を提示させていただきました。

会長：社人研の方はあまり手を打たなかった場合の数字であろうと思います。そのほかございましたら。

委員：地方創生会議の方でも同じ資料で審議しましたが，その際，これだけ社人研のものと乖離があるのでは，見積もりが甘いのではないか，という意見が出たかと思えます。今回，10年先にわたる笠間市総合計画を決めるにあたってはもうすこし厳しい目でみて考えた方がいいと思いますが，どうなのでしょう。

事務局：これは笠間市の人口ビジョンではございますが，10年後を定めたというものではございませんので，今回はあくまでご報告としてご参照いただければと考えております。

会長：昨年，総合戦略ということで，地方創生にあたり高い目標を掲げて設定されたものだと思います。もちろん総合計画と総合戦略，同じ方向をむいて進めていくべきものではあります，数値にきつく縛られる必要はないとも言えましょう。議論は尽きないと思いますが，いくつかこれからの参考になるようなお話を聞けたと思います。時間もだいぶ経過しましたので，一旦ここでご意見の方は打ち切らせていただきたいと思えます。

○その他

会長：第1回目ということもあり，私自身，至らなかつた点もございますが，本日のように活発に意見を交わしながら進めていければと思うとともに，私もより勉強しなければと感じたところでございます。次に，第2回の審議会日程につきまして事務局，お願いします。

司会：第2回の審議会につきましては8月の下旬を予定しております。改めてご連絡申し上げたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

会長：以上で予定していた内容は終了いたしました。何か皆様からご意見，ご質問等ございますか。ございませんようですので，進行を事務局にお返ししたいと思います。

す。

司会：小原会長ならびに大津副会長におかれましては進行いただき、ありがとうございました。また委員の皆様におかれましても、慎重なご審議をいただきましてありがとうございました。これからも引き続きよろしくお願い申し上げます。それでは、以上をもちまして第1回笠間市総合計画審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

閉会